

みんなボランティア

170号

新しい発見・出会いの場を創造するボランティア情報誌

発行：宝塚社協ボランティア活動センター

いい音楽を届けたい！ バリアフリーコンサート♪ ～こむの音楽会～

「コンサートに行きたいけれど、遠くまで行くことができない。」「車椅子では、コンサート会場に入れない。」という声をきっかけに、“いい演奏を聴かせたい” “ピアノがなくても出来る音楽を” という思いで立ち上げられた『こむの音楽会』。木の床で、音の響きの良いぷらごこむ1 活動スペース2には、3ヶ月に1回素敵な音色が響きます。

こむの音楽会のこだわりは、プロやセミプロ、正装して演奏していただける方にご出演いただくこと。今までに、ソプラノオペラ歌手や盲目のピアニスト、マリンバ、フルート、オカリナ、琴など、様々な方をお招きしての演奏会が開催されました。また、こむの音楽会では、演奏を聴くだけでなく、必ずみんなで一緒に歌うこともされています。

「会場設営や受付など、色々な方にお手伝いしていただいています。大変なこともあるけれど、たくさんの方と繋がりが持てたり、元気になったりと、自分のためにボランティアをしています。」とメンバーの中西さん。

ぜひ、一度『こむの音楽会』にお越しいただき、木の温もりを感じる、優しい音色の音楽をお楽しみください。



ボランティア募集

・会場設営や受付など、当日のお手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。
ボランティア活動センターまで、お問合せください。

「ボランティアグループの財源確保について」

2月24日(土)に開催した平成30年度ボランティア活動助成説明会には105グループの参加をいただきました。その中で今年、ファンドレイジングの専門家(COMMNET 久津摩和弘氏)から表題のとおり講演をしていただきました。

市民活動やボランティアグループ活動の財源内訳において、補助金や助成金は使い方を縛られた不安定財源である。一方、会費や寄付金は使い道に縛りがなく、グループ活動に共感してくれるファンが現れれば継続獲得を望むことができる、自由で将来性のある財源である。そして近年、日本においてはNPOへの寄付総額は年々増えている。また、寄付の集め方の一つとしての募金箱は、それぞれのグループの活動時に堂々と置いちゃおう！という内容でした。

ただし、グループが「良い活動をしているのに寄付が集まらないのは社会の理解が悪い。」という発想は捨てて、「社会を変えていく手段として、自らの団体が何を課題とし、どういう解決策を示すつもりでいるのかを理解してもらうことが大切。」とのこと。

講演会終了後、久津摩氏が当日お持ちになっていたクリアー素材でできた透明な募金箱の求め先について、グループからのお問い合わせが増えています。

